

／ おにぎりを食べながら考えよう！ ／

「なんでだろう？」から広がる
わたしの世界

FUTURE LAB

話題の「米が無い」というニュースに

「なんでかな？」と思ったことはありませんか？

「なんで？」が「モヤモヤ」になり「ジブンごと化」すると、

見える世界が変わります。

体験を通して視野を広げ、新しい仲間と出会える

1DAYプログラムです！

2025.8.20 水

13:00-16:00 [受付開始 12:30]

会場 名古屋大学 豊田講堂シンポジオン

参加費 無料 対象 大学生1・2年生、高校生

定員 100名 ※定員に達した時点で締め切らせていただきますので、ご了承ください。

主催 / 東海国立大学機構 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 イノベーション・アントレプレナーシップ推進室

共催 / Tongali

後援 / 一般社団法人 三菱みらい育成財団



小野 邦彦氏

株式会社坂ノ途中 代表取締役



名古屋大学 Tongali



一般財団法人

三菱みらい育成財団

このイベントでは、広く深く、社会へ問いを投げかけ、

ご自身の視点から「食と農のこれから」に挑みつづける **起業家のストーリー** をお聞きます。

そのうえで自分の心に生まれた「なんで？」や「想い」を講師やチームとディスカッションし

「ジブンごと化」 してみましょう。それはあなたの **新しい一歩** になるはず。

また実際におにぎりを食べながら、チームでその裏側へ思い巡らす **ゲームを開催**。

身近な「食」を入りに、仲間と出会い、世の中のしくみや挑戦を知り、

世界を変える **「問いのチカラ」** を体感します。



GUEST

ゲスト講師

小野 邦彦氏

株式会社坂ノ途中 代表取締役



奈良県生まれ。京都大学総合人間学部にて文化人類学を専攻。外資系金融機関を経て、株式会社坂ノ途中を設立。「100年先もつづく、農業を。」というメッセージを掲げ、農業や化学肥料不使用で栽培された農産物の販売を行っている。東南アジアで森林保全と山間地での所得確保の両立を目指す「海ノ向こうコーヒー」も展開。「坂ノ途中の研究室」では、自治体、大学や企業と連携した調査、研究を実施。



講師

齊藤 弘久氏

名古屋大学未来社会創造機構
FUTURE Society Studio 教授

社会学者。高度に技術的な問題において、政府、専門家、市民の相互作用がどのように政策決定を形成するかを研究している。また、マインドフルネスとデザイン思考の実践者として、全人的な成長と社会的幸福を促進するためのイノベーションを追求している。

TIME SCHEDULE

13:00-13:15 イントロダクション・アイスブレイク
「最近心に残っている食体験」

13:15-13:45 ゲストトーク
食と農のこれからを考える
-坂ノ途中の取り組みを手掛かりに-
小野 邦彦氏

13:45-14:00 グループワーク

14:00-14:30 小野さんと齊藤教授を交えた参加者たちによる質疑応答と探求時間

休憩

14:40-15:40 **ワークショップ**

＼ おにぎりゲームワークショップ /

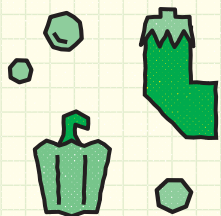
実際におにぎりを食べながら、その向こう側にいるたくさんの人、自然、世の中のしくみを紐解き、自分との関係を“見える化”していくゲーム型ワークショップを開催！

「なぜ勉強するのか？」「社会って自分とどう関係あるの？」そんな疑問に対する自分なりの答えも見つかるかもしれません。

15:40-16:00 発表・振り返り
今後のプログラムのご案内



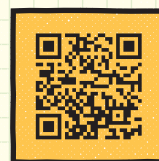
＼ 食や農の専門知識はなくてもOK! **「気になる」「知りたい」**からはじめよう /



お申し込み 右側の申込みフォームからご応募ください。
<https://tongali.net/events/impact-seminar2025>

申込締切 8/19 (火) 正午 **定員** 100名 (先着)

お問い合わせ 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 イノベーション・アントレプレナーシップ推進室
TEL : 052-747-6490 E-mail : tongali@g.thers.ac.jp



申込はこちら